

保育理念 (事業運営方針)		毎日、新しい発見や新鮮な感動がある『ディズニーランド』のような保育園を目指します。					
保育方針		テレビやビデオのような疑似体験による『知識』ではなく、本物の体験の中から『知恵』と『感性』を身につけるよう、可能な限り多様な実体験の機会を設けていきます。		保育目標		目指す4つの子ども像 ①自分で考えて行動する子ども ②自分から主体的に生活する子ども ③豊かな感性を持った心優しい子ども ④社会のルールがわかり守れる子ども	
☆発達過程とクラスの相関性 年齢別にクラスを構成して園生活を送るが、保育指針の示す8つの発達段階を前提に年間指導計画が作成される。また、子ども一人ひとりの成長段階を踏まえ、養護と教育が一体となり保育は展開される。		☆基本的社会的責任 適切な法人施設運営、運営情報の公開、人権尊重(児童福祉法)、地域との交流(行事への参加呼び掛け)、保育の説明責任(おたよりの配布)、個人情報保護(プライバシーポリシー)、苦情処理解決(第三者委員設置)、第三者事業評価と利用者評価(情報公開)、育児・子育て情報の提供		☆地域の実態に対応した事業 駅からも近く都内に通勤するサラリーマン世帯が多く居住する地域であり、近年、マンションや宅地開発が進んで新しい住人が流入し人口が急増している地域である。核家族世帯が多く育児や子育てに悩む母親も少なくない。希望に応じ延長保育・長時間保育の需要に応えるとともに、地域の子育て支援センターとしての役割にも担っていく。		☆保育時間 平常保育：午前7時00分～午後6時00分 延長保育：午後6時00分～午後7時00分(1時間延長)	
子どもの 保育目標		0歳児 個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う。		1歳児 安心できる保育者との関係の下で自分でやろうとする気持ちを培う。		2歳児 保育者や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する。	
保育の内容							
		0歳児		1歳児		2歳児	
養護	生命の保持	◎保育士との信頼関係が深まり、基本的信頼感が芽生えるように接する。 ◎一人ひとりの生活リズムが整うよう配慮する。		◎保育士との信頼関係がさらに深まり、愛着関係が育まれるように接する。 ◎生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ。		◎基本的な生活習慣が自立するように援助する。 ◎運動機能が高まるよういろいろと働き掛ける。	
	情緒の安定	◎一人ひとりの発達過程などを的確に把握し、応答的なふれあいや言葉かけ、援助を行なう。		◎スキンシップにより、保育士とのかかわりの心地よさや安心感を得るように接する。		◎主体的な活動を促す環境を構成し、探索意欲が高まるようにする。	
教育	健康	◎清潔になる事の心地よさを感じる。		◎援助してもらいながら、身の回りの簡単な事を自分でしようとする気持ちを育てる。		◎身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。	
	人間関係	◎特定の保育士とのかかわりにより信頼関係が生まれる。		◎保育士や友だちに興味や関心を持ち、真似をしたりして自ら関わろうとする。		◎生活や遊びの中で「きまり」がある事を知り、友だちと簡単なルールのある遊びが楽しめるようになる。	
	環境	◎安心できる人的および物的環境の下で、感覚の働きを豊かにする。		◎好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。		◎自然と触れ合う中で好奇心や探究心が生まれてくる。	
	言葉	◎語りかけられることにより声を出したり応えようとする。		◎話しかけややり取りの中で声や言葉で自分の気持ちを表そうとする。		◎生活や遊びの中で、保育士や友だちとの言葉のやり取りを楽しむ。	
食育	表現	◎土や水などの素材に触れ、全身で感触を楽しみ感性を育む。		◎保育士と一緒に歌ったり手遊びしたり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。		◎保育士や友だちと遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。	
	食を営む力の基礎	◎食べることに意欲を持つ。		◎食べることの楽しさを知る。		◎意欲的に食べるようになり、食材に興味を持つ。	
健康支援		・健康状態、発育発達状態の定期的、系統的な把握 ・毎週1回の嘱託医による定期健康診断 ・年2回の歯科検診 ・異常が認められたときの適切な対応 ・年間保健指導計画				研修計画	
環境・衛生管理		・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒、 ・安全管理及び自主点検、 ・全職員に対する健康診断と細菌検査の実施				特色ある保育	
安全対策 事故防止		・毎月の避難訓練(火災・地震・不審者対応)、 ・職員への危険予知トレーニングの実施、 ・上級救命講習の受講				地域の行事への参加	
保護者・地域 への支援		・育児相談事業、・園庭開放、・子育て支援広場事業(わくわくひめゆり、よちよちひめゆり)、・子育てはがき通信の発行、・育児講座の開催、・保育実習生や職場体験の受入れ、・体験ボランティアの受入れ				自己評価	
						・新保育所保育指針に対応した園内研修の計画実施 ・園外研修への計画的な参加 ・職員基本研修(上級救命講習、おもちゃインストラクター講習など)の実施	
						定員が40名という小規模乳児専門保育園という特徴を活かし、家庭的で細やかな保育を行なうとともに、生活や行事を全て乳児の発達やペース、生活リズムに合わせて行ないます。	
						・小平市民まつり、 ・消防出初式、	
						・保育の評価(全体の反省による保育家庭の反映)、 ・東京都福祉サービス第三者評価の受審、 ・利用者アンケートの実施による結果分析と反映、	

